

中国華南で部品検査会社の設立を目指す！

自動車部品産業の発展に寄与

(京都精工 株式会社)

会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地:京都府宇治市槇島町千足19-8
- 代表者:代表取締役 新井 隆司
- 資本金:1,000万円
- 売上高:非公表
- 従業員数:29名
- URL: <http://www.kyotoseiko.co.jp/>

①事業概要

<産業機械向けリークテスト製造・販売>

平成7年に設立し、自動車や家電製品の部品など産業機械向けのリークテスト装置の設計製造や流量測定・画像処理検査装置の設計製造を行っている。リークテストとは、あらゆる装置にとって欠陥となる「洩れ」を確実に検査する装置のことである。当社の経営理念は、ユーザーの要求に応え満足していただくことを使命とすることである。メーカーだが、サービス業のような精神で顧客に接するよう伝えている。

②海外展開概要

<中国における工場設置>

平成19年に中小機構近畿支部を訪れ、中国に進出することにつき、相談した。専門家からは、自分で中国に行き自分の目で確かめて欲しい旨、伝えられ、現地同行アドバイス制度を活用するよう勧められた。専門家と現地を訪問した際、広東及び広州全般の経済状況をヒアリングした。翌日から工場建設の候補地である広州経済技術開発区、東莞や深セン等を回った。現地同行アドバイスの際、自分の工場を持つ最良の方法は、土地を見つけ、自社の設計で工場を建設してもらい、それを借りること、とアドバイスされた。レンタルであるため資金的にもそれほどかからない。それ以外にも、地盤強度、交通の便、地元政府との対応、価格交渉などアドバイスを頂いた。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

中小機構の現地同行アドバイス制度を活用したことによる現地での適切なアドバイスが要因としてある。地元政府との対応、インフラ整備、生活環境、優遇税制などは役に立った。

他には、自分の工場を持つための最良の方法として、「土地を見つけ、自社の設計で工場を建設してもらい、それを借りる(レンタルすること)」というアドバイスを受けた。初期投資を抑えられ、自社設計のため使い勝手が良く、効率がよいからである。

④今後の事業展開について

弊社の顧客である日系のメーカーにおいて設備の自動化が更に進んでおり、弊社にとって追い風となった。

人材の積極的な増員をはかり、顧客の要求にこたえるべく努力している。また、第3の拠点としてインドネシアへの進出準備を具体的に進めている。今後も海外展開を積極的に進め、顧客のグローバルな要求に対応していく予定である。



(平成24年10月現在)

データ出所:(独)中小企業基盤整備機構